



## わが心のふるよと富士山

⑥

型染めと文  
桂田貴子さん  
厚原七三八一四



### 富士に生きる我が町

富士市役所ができて間もないころ、屋上に登った。そこからの、富士の町と富士山とのコントラストがすばらしかった。富士市に生まれ育った私は、何度も富士山を見て感動した。でも、そのときほど富士の町は富士山のふもとなんだと感じたことはなかった。

型染めと出会い、「富士に生きる」というテーマに迷わず決めた。この富士の町、紙の町、そしてエントツを見おろしている表富士の姿を染めようと。時には厳しく、時にはやさしく、いつまでも私たちを見守ってくれている富士山が、私は大好きです。

### こちら編集室

最近、写真の現像と焼きつけを覚えた私。「おれに、まかせておけ」と、意気込んで一人暗室へ。

明かりを消すと、脳裏をかすめる年下の先輩の言葉、「広報紙に使うんだから、失敗は許されない

ですよ」。もう一度、明かりをつけて手順を確認。

焼きつけまで終わり、鼻息荒く「楽勝！ 楽勝！」。暗室のくず入れが、印画紙でいっぱいのは、だれも知らない。

今月号は、ロゼワイン色を使いました。

発行・富士市役所 富士市永田町1丁目100番地 ☎51-0123 人口 229,104人 男 114,356人 女 114,748人  
編集・総務部広報広聴課 世帯数 70,269世帯 (9月1日現在)



広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています



文化会館(ロゼシアター)の建設現場を見てみませんか。工事用の足場も取り払われて、富士山側からは細長く伸びたガレリア(ロビー)がよく見えます。建設現場の見学ツアーは、今月27日と29日の2日間。締め切りは、20日まで。好奇心旺盛な皆さん！14ページをごらんになって、ぜひご参加ください。お待ちしています。